

ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第3期(決算日2023年11月27日)

作成対象期間(2022年11月26日～2023年11月27日)

第3期末(2023年11月27日)	
基準価額	13,773円
純資産総額	2,996百万円
第3期	
騰落率	19.7%
分配金(税込み)合計	250円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書(全体版)は、朝日ライフ アセットマネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記ホームページの「ファンド情報」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、日本を除く世界各国の企業を対象に、4つの分野の世界的なトレンド(構造的な変化)へ解決策を提供できる企業に投資し、信託財産の成長と同時に、サステナブル(持続可能)な社会の実現に資することを目指して運用を行いました。サステナブル投資に特化した運用会社であるミローバ社の米国子会社であるミローバUS社に運用を委託しています。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ: <https://www.alamco.co.jp/>

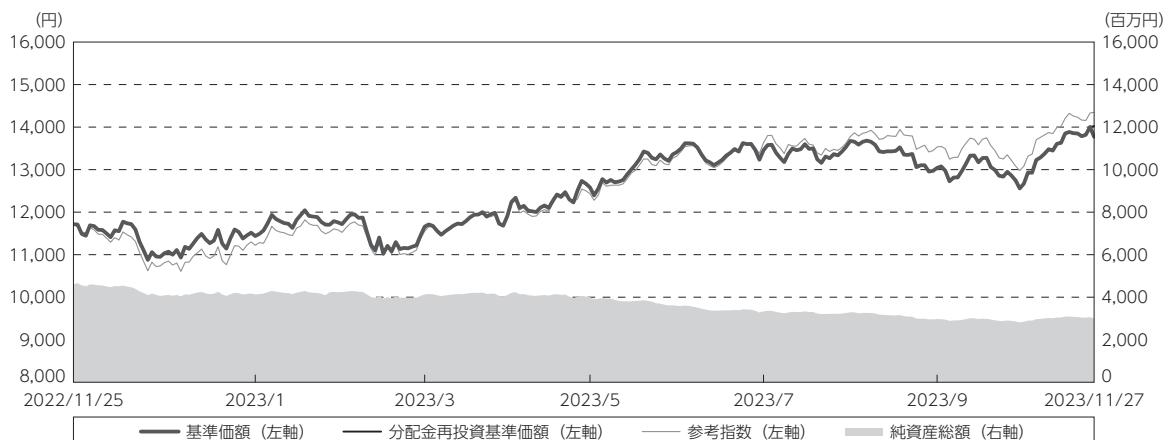
フリーダイヤル: 0120-283-104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年11月26日～2023年11月27日)



期 首：11,717円

期 末：13,773円 (既払分配金(税込み)：250円)

騰落率： 19.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 参考指数は、MSCI KOKUSAIインデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、FRB(米連邦準備理事会)の利上げペースの鈍化期待および利上げ打ち止め期待が高まったこと、米大手半導体企業をはじめ堅調な企業決算が発表されたこと、ドルやユーロに対して円安となったことなどが挙げられます。

主な下落要因としては、米国の銀行が相次いで破綻したこと、米国債の需給悪化懸念や市場予想を上回る米国インフレ指標の発表を背景に長期金利が上昇したことなどが挙げられます。

1万口当たりの費用明細

(2022年11月26日～2023年11月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	224 (123) (96) (5)	1.814 (0.995) (0.774) (0.044)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	1 (1)	0.008 (0.008)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.010 (0.010)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	5 (3) (1) (0)	0.037 (0.025) (0.011) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用です。 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。 信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	231	1.869	
期中の平均基準価額は、12,354円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

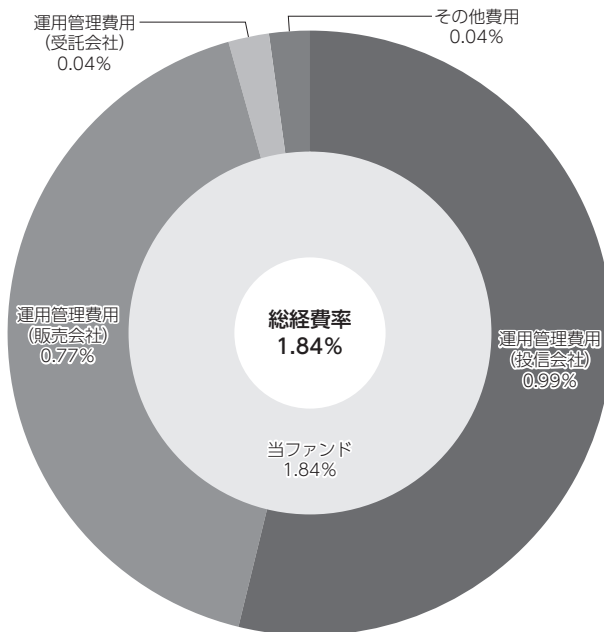
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

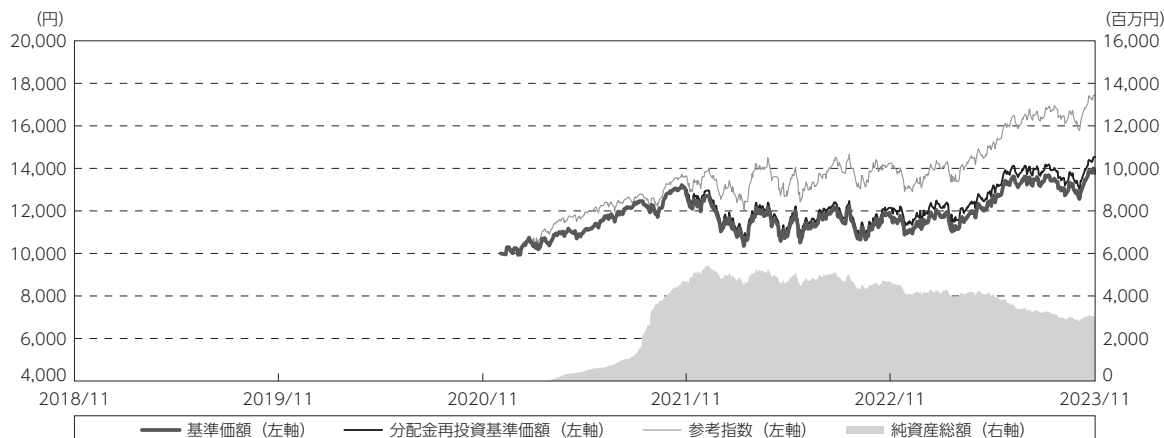
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月26日～2023年11月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2020年12月29日です。
 (注) 参考指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020年12月29日 設定日	2021年11月25日 決算日	2022年11月25日 決算日	2023年11月27日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,760	11,717	13,773
期間分配金合計(税込み) (円)	—	250	200	250
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	30.1	△ 6.6	19.7
参考指数騰落率 (%)	—	36.5	4.3	22.5
純資産総額 (百万円)	1	4,592	4,612	2,996

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2021年11月25日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

参考指数は、MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

投資環境

(2022年11月26日～2023年11月27日)

当期の海外株式市場は、一時的に下落する局面はあったものの、前期末比では上昇となりました。

期初の海外株式市場は、2022年12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)においてパウエルFRB議長が金融引き締めを長期化を示唆したことなどから軟調なスタートとなりましたが、2023年1月に発表された米雇用統計が市場予想を下回ったこと、2月のFOMCで利上げ幅が0.25%に縮小されたことなどから、上昇しました。

3月に入ると、米国の銀行の相次ぐ破綻を受けて海外株式市場は一旦調整しましたが、その後、資金繰りが懸念された米中堅銀行に対する米大手11行からの支援策が発表されたことや、UBSが経営不安の高まったクレディ・スイス・グループを買収したことなどを受けて反発しました。

その後、5月に、米大手半導体企業がAI(人工知能)関連製品の需要拡大を理由に市場予想を大幅に上回る業績見通しを発表すると、AI関連銘柄を中心に海外株式市場は上昇し、その後も、パウエルFRB議長が9月のFOMCで政策金利据え置きの可能性に言及したことなどを受けて上昇しました。

しかし8月に入ると、米国債の増発見通しを受けた需給悪化懸念や、米インフレ指標が市場予想を上回ったことにより米長期金利が上昇し、9月も堅調な米経済指標の発表、原油価格の高騰、FRBのタカ派的な政策金利見通しを背景に、長期金利が上昇するとともに海外株式市場は下落基調となりました。

10月に入っても、予想以上に堅調な経済指標の発表やパウエルFRB議長によるタカ派的な発言などから長期金利が上昇し、中東情勢が緊迫したことも悪材料となって海外株式市場は下落傾向となりましたが、期末にかけては、米国債の需給悪化懸念が和らいだこと、米インフレ指標が市場予想を下回ったことなどにより長期金利が低下し、海外株式市場は上昇傾向となって当期の取引を終えました。

地域別では、北米市場、欧州市場とも上昇しました。為替市場では、円はドルおよびユーロに対して円安となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年11月26日～2023年11月27日)

主要投資対象であるミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。

サステナブル投資に特化した運用会社であるミローバ社の米国子会社であるミローバUS社に運用を委託しています。

期首に保有していた銘柄のうち当期中に全売却したものは以下のとおりです。これらは、ポートフォリオの価値を高めたり、ESGの観点からより優れた銘柄の比率を高めるために売却したものです。

銘柄	投資国	業種
プルデンシャル	イギリス	保険
ディア	アメリカ	資本財
メルカドリブレ	アメリカ	小売
シグネチャー・バンク	アメリカ	銀行
SVBファイナンシャル・グループ	アメリカ	銀行
ブライト・ホライズン・ファミリー・ソリューションズ	アメリカ	消費者サービス
サンラン	アメリカ	資本財
オーステッド	デンマーク	公益事業

(注) 業種はGICS(世界産業分類基準)に基づくものです(以下同じです。)

一方、当期に新規に組入れを行った主な銘柄と概要は以下のとおりです。

銘柄、投資国、業種	概要
アグコ アメリカ 資本財	米国を拠点とする農業機械メーカーです。環境面で多くのメリットがある精密農業技術を通じて、効率的農業の必要性に対するソリューションを提供しています。
エアリキード フランス 素材	売上高世界第2位の産業ガス・サプライヤーです。医療、化学、電子メーカーなど様々な業界向けに産業ガスを供給しています。
エンフェーズ・エナジー アメリカ 半導体・半導体製造装置	米国に本拠を置く太陽光発電設備会社です。ソーラー・パネルによって生成された直流電流を、住宅用および商業用に広く使用できる交流に変換するソーラー・マイクロインバータを主要な収益源としています。
ウエイスト・マネジメント アメリカ 商業・専門サービス	米国に本拠を置く廃棄物処理会社です。廃棄物の埋め立て、ごみの回収、リサイクル・サービスなどを手掛けています。
ヴェラルト アメリカ 商業・専門サービス	ダナハー社の環境・応用ソリューション部門が分社化され、割り当てられた銘柄です。水質管理や製品識別に関する製品を提供しています。
アストラゼネカ イギリス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	イギリスの製薬会社です。オンコロジー（腫瘍・がん）、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患の治療薬を中心に医薬品およびバイオ医薬品を製造・販売しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年11月26日～2023年11月27日)

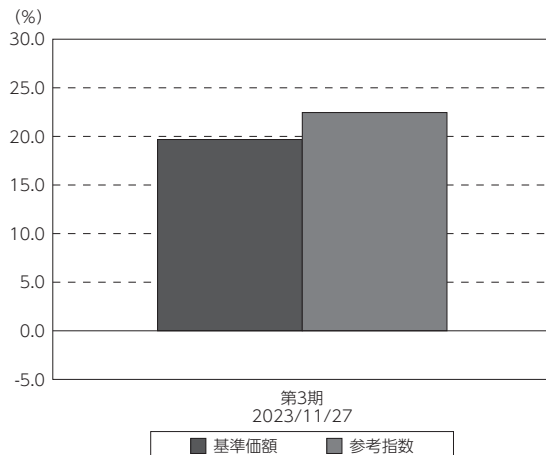
当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が22.5%上昇したのに対し、基準価額は19.7%の上昇となり、参考指数を2.8%下回る結果となりました。個別銘柄選択効果がマイナスに働いたことがマイナスの乖離要因となりました。

個別銘柄では、SVBファイナンシャル・グループ(アメリカ、銀行)、オーステッド(デンマーク、公益事業)、ネクステラエナジー(アメリカ、公益事業)などがマイナスに寄与しましたが、エヌビディア(アメリカ、半導体・半導体製造装置)、ノボ・ノルディスク(デンマーク、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、アドビ(アメリカ、ソフトウェア・サービス)などがプラスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。
 (注) 参考指数は、MSCI KOKUSAIインデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

分配金

(2022年11月26日～2023年11月27日)

当期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、1万口当たり250円とさせていただきます。

なお、収益分配にあらず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2022年11月26日～ 2023年11月27日
当期分配金	250
(対基準価額比率)	1.783%
当期の収益	250
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,773

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、信託財産の成長を目指して運用を行います。ミローバでは、将来の世界を形成する4つの長期的なトレンド(人口動態、環境、テクノロジー、ガバナンス)に伴う課題に解決策を提供できる企業へ投資し、個別企業の戦略的ポジショニング、財務構造、経営者の資質、ESG分析等による質的評価、企業価値評価に基づき、個別銘柄選択を通じてポートフォリオを構築します。ミローバでは、株式市場は、今後の世界を形作る構造的変化から得られる投資機会および環境、社会、ガバナンスへの取り組み不足がもたらすリスクを過小評価していると考えています。ミローバは、長期的な視点に立って分析した、質が高く株価が割安な銘柄を特定し、独自のESG格付けを用いて環境・社会にプラスのインパクトを与えるポートフォリオを構築することで、中長期的な運用実績とESGへの取り組みの双方における良好な成果を追求します。

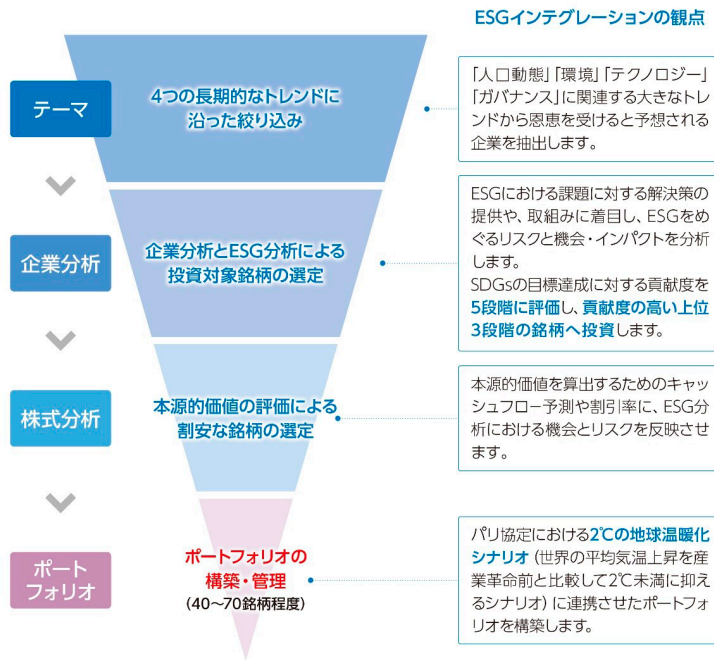
お知らせ

- ・当ファンド及びマザーファンドの約款において、新NISA(成長投資枠)の要件対応等のため、デリバティブ取引の利用をヘッジ目的に限定する等の変更を行いました。加えて、当ファンドにおいて、信託期間終了日を無期限に変更しました。(2023年8月25日)
- ・これまで以上にSDGs達成へ向けた企業活動のインパクトへ焦点を当てるため、ミローバにおいて、ESG評価手法の見直しが行われました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の成長を目指して、運用を行います。	
主要投資対象	ミローバ グローバル・サステナブル株式ファンド	ミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド受益証券
	ミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド	日本を除く世界各国の株式
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。サステナブル投資に特化した運用会社であるミローバ社の米国子会社であるミローバUS社に運用を委託します。対円での為替ヘッジは、原則として行いません。	
分配方針	年1回(11月25日。休業日の場合は翌営業日)に、配当等収益および売買益などのうちから、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○マザーファンドの投資プロセスにおける ESG 評価について
【投資プロセス】

●4つのトレンド

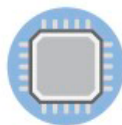
世界が①人口動態、②環境、③テクノロジー、④ガバナンスの分野で長期的なトレンド(構造的な変化)に伴う大きな課題に直面しており、そうした課題の解決策を提供できる企業に「投資の機会がある」と同時に、変化に対応できない企業を避けることで「リスクの抑制」に繋がると考えています。



人口動態



環境



テクノロジー



ガバナンス

● ESG分析

ポジティブ・インパクト (SDGsの目的達成に対する貢献度) とリスク (ガバナンス面の評価も含む) の両面から各企業を評価します。総合的な評価を5段階で付与し、上位3段階 (高ポジティブ、中ポジティブ、低ポジティブ) の銘柄にのみ、投資を行います。



【組入上位銘柄のESG評価・テーマ／取り組み】

(2023年11月27日)

	銘柄名	構成比(%)	ESG評価	テーマ／取り組み	
1	アドビ	5.4	低ポジティブ	テクノロジー デジタル化	サイバー・セキュリティ対策では全社的なセキュリティ管理システムが構築され、専任のチームが商品のライフサイクルを通じてセキュリティ対策をチェックしている。また、2035年までに同社データ・センターの電力の全てを再生可能エネルギーに切り替える目標を設定している。
2	マスターカード	5.0	低ポジティブ	テクノロジー デジタル化	他の企業、政府機関、非政府組織などと協力して金融包摂を促進し、金融包摂を企業戦略の一つに位置付けている。事業活動における気候変動問題やエネルギー消費に対する取り組みも行っている。
3	マイクロソフト	4.9	低ポジティブ	テクノロジー デジタル化	クラウドコンピューティングと人工知能分野で強力なイノベーションを起こしている。データのセキュリティとプライバシーに関し広範な戦略を持ち、データ・センターの高いエネルギー効率などから堅実なリスク管理を行っている。
4	エヌビディア	4.5	低ポジティブ	テクノロジー デジタル化&AI	電子廃棄物、エネルギー、水などの環境への配慮をサプライヤーのトレーニングに統合するなど、サプライチェーン管理を徹底し、サステナビリティのリスクを適切に管理するための重要な措置を講じている。
5	ノボ・ノルディスク	4.4	中ポジティブ	人口動態 医療ニーズ	糖尿病は、重大な疾患につながる慢性疾患であり、同業界の主要企業として糖尿病治療に関するソリューションを提供。低・中所得国における糖尿病ケアへのアクセスを促進する取り組みも行っている。

(注) 構成比は、マザーファンドの純資産総額に対する株式評価額 (邦貨換算金額) の割合です。

(注) 作成基準日時点の構成比と、ミローバからの2023年10月末時点のESG情報を元に、組入銘柄の紹介を目的として委託会社が作成したものであり、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

【ESG評価の内訳】 (2023年10月末時点)

評価	割合
高ポジティブ	7.1%
中ポジティブ	43.7%
低ポジティブ	49.2%
ネグリジブル	0.0%
ネガティブ	0.0%

(注) ミローバからの2023年10月末時点のESG情報を元に、委託会社が作成したものです。

【地球温暖化へのインパクト】 (2023年10月末時点)

	マザーファンド	参考指数
	2.0 -2.5°C	3.5 - 4.0°C
投資先のCO2排出量	65.0t	128.2t
投資先のCO2削減量	19.0t	7.0t
ミローバ・カバー率	100%	98%

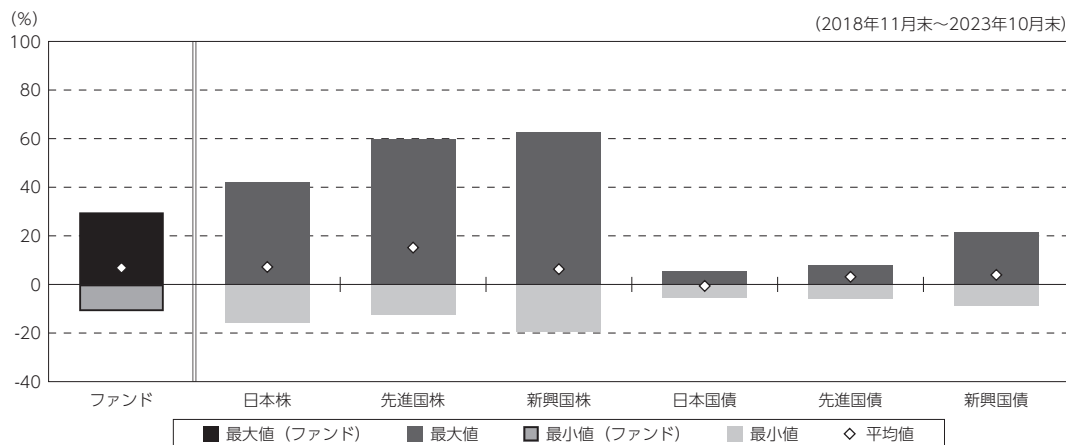
(注) ミローバからの2023年10月末時点のESG情報を元に、委託会社が作成したものであり、ミローバとカーボンフォー社が共同開発したカーボン・インパクト分析に基づく推計データによります。また、【参考指数】はMSCI KOKUSAI インデックス(ドルベース)です。【カーボンフォー社】は環境課題の評価・分析を専業とするコンサルティング会社であり、気候変動へ積極的に取り組むフランスの金融機関などと共同で分析手法を開発しています。

(注) 投資先のCO2排出量および投資先のCO2削減量は、投資金額100万ユーロあたりのCO2を表します。

(注) 投資先のCO2排出量とは、対象企業の製品、サービス等の全ライフサイクルを考慮した排出量を分析・計測したものです。また、投資先のCO2削減量とは、対象企業の製品、サービス等(エネルギー使用)の効率化による削減効果や各種グリーン・インパクトによる削減効果を分析・計測したものです。

(参考情報)

○ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 11.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	6.8	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、ファンドについては設定日が2020年12月29日であるため2021年12月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月27日現在)

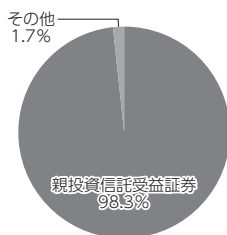
○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
ミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド	98.3%
組入銘柄数	1銘柄

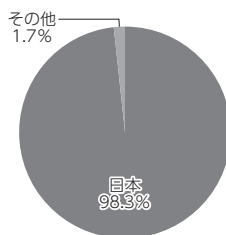
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

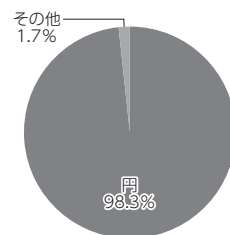
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

純資産等

項目	第3期末
	2023年11月27日
純資産総額	2,996,471,116円
受益権総口数	2,175,609,232口
1万口当たり基準価額	13,773円

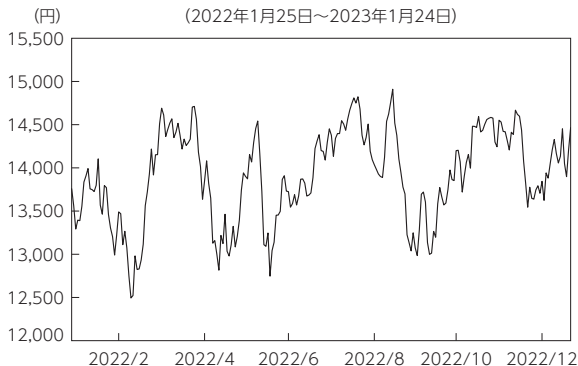
(注) 期中における追加設定元本額は260,809,000円、同解約元本額は2,021,812,108円です。

組入上位ファンドの概要

ミローバ・グローバル・サステナブル株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年1月25日～2023年1月24日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年1月25日～2023年1月24日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.013 (0.013)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.011 (0.011)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.026 (0.025) (0.000)
合 計	8	0.050

期中の平均基準価額は、13,918円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

【組入上位10銘柄】

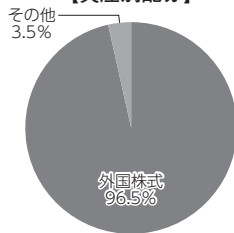
(2023年1月24日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	5.0%
2 MASTERCARD INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.8%
3 EBAY INC	小売	米ドル	アメリカ	4.7%
4 NOVO NORDISK A/S-B	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	デンマーククローネ	デンマーク	4.6%
5 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.2%
6 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.5%
7 ROPER TECHNOLOGIES INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.4%
8 ELI LILLY AND COMPANY	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	米ドル	アメリカ	3.4%
9 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.3%
10 ECOLAB INC	素材	米ドル	アメリカ	3.2%
組入銘柄数		42銘柄		

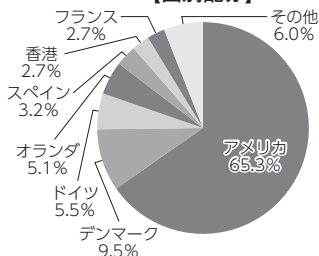
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。

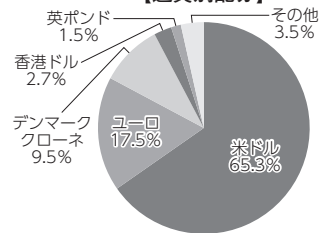
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。